SONY

4-282-057-03 (1)

ネットワークカメラ

設置説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。
必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この設置説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SNC-EP580/ER580/EP550/ER550
SNC-EP520/ER520/ZP550/ZR550

IPELA　IPELA HYBRID
sloc™　HD

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

はじめに

この設置説明書では数種類のネットワークカメラの取り扱いかたを示しています。SNC-EP520/ER520はSDモデル、SNC-EP550/ER550はHDモデル、SNC-EP580/ER580はFull HDモデル、SNC-ZP550/ZR550はIPELA HYBRID対応のHDモデルです。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。
- 安全のための注意事項を守る。
- 故障したり破損したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する。

警告表示の意味

この設置説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

下記の注意事項を守らないと、**火災**や**感電**、**落下**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

設置や配線工事のときに屋内配線や屋内配管を傷つけないよう気をつける

特に壁に穴を開けたり、電源コードやケーブルを固定したりするときは充分に気をつけてください。屋内配線や屋内配管の傷は、火災や感電、漏電の原因となります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

指示

設置説明書に記されている電源コードや、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電、発火の原因となることがあります。

指定された電源電圧で使用する

指定されたものと異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
壁や天井など高所への設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。
また、1年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて、点検の間隔を短くしてください。

製品の設置は充分な強度のある場所に取り付ける

強度の不充分な場所に設置すると、落下、転倒などにより、けがの原因となります。

機器や部品の取り付けは正しく行う

機器や部品の取り付け方や、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機や部品が落下して、けがの原因となることがあります。
設置説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所やこの設置説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルを傷つけない

電源コードや接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 電源コードに重いものを載せたり、引っ張ったりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

不安定な場所に設置しない

次のような場所に設置すると倒れたり落ちたりして、故障やけがの原因となることがあります。
- ぐらついた台の上
- 傾いたところ
- 振動や衝撃のかかるところ

また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

電源コードやケーブルを窓やドアにはさみ込まない

コードやケーブルが傷つくと、ショートにより火災や感電の原因となります。

下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えたりすることがあります。

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

直射日光に当たる場所、熱器具の近くには置かない

変形したり、故障したりするだけでなく、レンズの特性により火災の原因となることがあります。特に、窓際に置くときなどはご注意ください。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機が接続されている電源供給機器の電源コードや本機の接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

指定した給電装置を使用する

HPoEでの電源供給は、IEEE802.3atに準拠した装置を使用してください。
指定の装置を使用しないと、火災や感電、けがなどの原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

電源を入れたままで電源コードや接続ケーブルを接続すると、感電や故障の原因になることがあります。

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

指示

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、またはお近くのソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

使用上のご注意

ご使用の前に

開梱してから、結露がある場合には結露がなくなってから電源を入れてください。

データ・セキュリティについて
- ネットワークカメラを使用することにより、インターネットを通じて容易にカメラ映像にアクセスすることができます。一方で第三者によりネットワークを通じてモニタリング画像および音声を閲覧、使用等される可能性があります。ネットワークカメラの設置およびご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- ネットワークカメラへのアクセス権限は、ユーザー名およびパスワードを設定することにより行われます。それ以上のカメラによる認証作業は行われません。
- 諸事情による本ネットワークカメラに関連するサービスの停止、中断については、ソニーは一切の責任を負いません。
- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部のストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品の使用によりデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

個人情報について

本機を使用したシステムで撮影された個人を識別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。
- 本製品を使用して記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本製品、または記録媒体が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いを充分に注意してください。

使用・保管場所について

次のような場所での使用および保管は避けてください。
- 極端に暑い所や寒い所
- 直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く
- 強い磁気を発するものの近く
- 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く
- 振動や衝撃のある所
- 湿気、ほこりの多いところ
- 雨のあたるところ

放熱について

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因になります。

電源について
- 本機をHPoE給電で使用する場合は、電源はネットワークケーブルを通じて供給されます。
- ネットワークケーブルは、STP/UTPカテゴリー 5をご使用ください。
- ネットワークケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

輸送について
- 持ち運ぶときは、必ず電源を切ってから運んでください。
- 輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

お手入れについて
- レンズの表面に付着したごみやほこりは、ブロアーで払ってください。
- 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取ったあと、から拭きしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることもあります。

異常や不具合が起きたときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

レーザービームについてのご注意
レーザービームは撮像素子に損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、撮像素子表面にレーザービームが照射されないよう十分注意してください。

SDカードに関して

SDカードに記録したデータは次の場合に破壊、消失する可能性があります。
- SDカードにアクセス中に本機器から外したり、本機器の電源を切った場合
- 長期にわたる書き込みによりSDカードが寿命になった場合
- SDカードに衝撃を加えた場合
- SDカードの装着が正しくされなかった場合

データの消失により発生する損害、逸失利益についての保証はいたしかねます。

カメラ設定機能に関して

スローシャッター時にはDynaView(WDR)は使用できません。
DynaView(WDR)使用時には、露出補正機能は使用できません。

撮像素子特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、撮像素子特有の現象で、故障ではありません。

白点

撮像素子は非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。
これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。
また、下記の場合、白点が見えやすくなります。
- 高温の環境で使用するとき
- ゲイン(感度)を上げたとき
- スローシャッターのとき

スミア現象(SNC-EP520/ER520)

強いスポット光やフラッシュ光などを撮影したときに、画面上の縦線や画乱れが発生することがあります。

折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ギザギザやちらつきが見えることがあります。

付属の説明書について

設置説明書(本書)

この設置説明書には、カメラ本体の各部の名称や設置、接続のしかたが記載されています。操作の前に必ずお読みください。

ユーザーガイド(CD-ROMに収録)

カメラのセットアップの方法や、Webブラウザを介したコントロールの方法が記載されています。
設置説明書に従ってカメラを正しく設置、接続したあと、ユーザーガイドをご覧になって操作してください。

CD-ROMマニュアルの使いかた

付属のCD-ROMには、本機のユーザーガイド(日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語)がPDF形式で記録されています。

準備

付属のCD-ROMに収録されているユーザーガイドを使用するためには、以下のソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。
Adobe Reader 6.0以上
Adobe Readerがインストールされていない場合は、次のURLからダウンロードできます。
http://www.adobe.com/

マニュアルを読むには

1. **CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。**
   表紙ページが自動的にWebブラウザで表示されます。
   Webブラウザで自動的に表示されないときは、CD-ROMに入っているindex.htmファイルをダブルクリックしてください。
2. **読みたいマニュアルを選択してクリックする。**
   マニュアルのPDFファイルが開きます。
   「目次」の各項目をクリックすると、その見出しのページが表示されます。

ご注意
- Adobe Readerのバージョンによってファイルが正しく表示されないことがあります。
  「準備」の項目のURLより最新のソフトウェアをダウンロードしてお使いください。
- CD-ROMが破損または紛失したため、新しいCD-ROMをご希望の場合は、ソニーのサービス担当者にご依頼ください(有料)。

Smartphone viewer機能について

本製品には、Smartphone viewer機能が搭載されております。
この機能により、スマートフォンからネットワークカメラの映像取得およびパン・チルト・ズーム操作を行うことができます。
本機能に関する詳細は、下記URLに掲載されている「Smartphone viewerユーザーマニュアル」をご確認ください。
http://www.sony.net/ipela/snc

各部の名称と働き　A

❶ **レンズ**

❷ **カメラヘッド部**

❸ **LAN(ネットワーク)ポート(RJ-45)**
ネットワークケーブル(UTP/カテゴリー 5)を使用してネットワーク(10BASE-T/100BASE-TX)に接続します。
本機をHPoE*給電で使用する場合は、この端子をHPoE給電機器に接続します。
SNC-ZP550/ZR550はネットワーク接続切換えスイッチでSLOCを選択した場合はHPoE給電されません。
接続について詳しくは、給電側の機器の説明書をご覧ください。
* HPoE：Power over Ethernetの略。IEEE802.3atに準拠の機器。

❹ **定格ラベル**
本機の名称や、電気関係の定格情報が記載されています。

❺ **SDメモリーカードスロット**
別売のSDメモリーカードを装着できます。
メモリーカードを装着することで、カメラの画像をメモリーカードに記録できます。
装着の際は、本機の定格ラベルの面とメモリーカードの印刷面が同じ向きになる状態で差し込み、最後まで押し込んで確実に装着してください。(B)
本機は、SD規格およびSDHC規格のメモリーカードにのみ対応しています。

ご注意
動作確認済みのSDメモリーカードについては、ソニー業務用商品相談窓口にお問い合わせください。

❻ **(マイク入力)端子(ミニジャック、モノラル)**
市販のマイクを接続します。

❼ **(ライン出力)端子(ミニジャック、モノラル)**
市販のアンプ内蔵スピーカーを接続します。

❽ **内蔵ワイヤーロープ**
カメラ本体の落下を防止するために使用します。

❾ **ネットワーク接続切り換えスイッチ(SNC-ZP550/ZR550)**
本機をLAN(ネットワーク)ポート(RJ-45)を使用してネットワークに接続するか、同軸線を使用してネットワークに接続するかを切り換えるスイッチです。

❿ **SLOC(IP同軸伝送/映像出力)端子(SNC-ZP550/ZR550)**
本機を、同軸線を使用してネットワークに接続する時に使用します。
本機からの映像をコンポジット信号として出力する時にも使用します。コンポジット信号出力時には、ネットワーク切り換えスイッチをLANに設定してください。
同軸線を使用してネットワークに接続する場合は、対応した機器に接続する必要があります。
接続について詳しくは、受信側の機器の説明書をご覧ください。

ご注意
アナログ映像出力は映像方式や画像サイズの設定により制限が生じる場合があります。
- 映像が縦長や横長に表示される
- 映像が小さく表示される

⓫ **〜 AC 24 V(電源入力)端子**
AC 24 Vの電源供給装置へ接続します。

⓬ **NETWORK(ネットワーク)インジケーター(緑/橙)**
ネットワークに接続されているときは点灯、または点滅します。ネットワークに接続されていないときは消灯します。
100BASE-TXで接続しているときは緑、10BASE-Tで接続しているときは橙で点灯します。
SLOC(IP同軸伝送)を選択した場合も緑に点灯します。(SNC-ZP550/ZR550)

⓭ **POWER(電源)インジケーター(緑)**
カメラに電源が供給されると、カメラ内部でシステムチェックを行います。
正常に動作している場合は、このインジケーターが点灯します。

⓮ **I/O(入出力)ポート**
2系統のセンサー入力、1系統のアラーム出力を備えています。

ピン番号	ピン名称
1	アラーム入力2
2	GND
3	アラーム入力1
4	GND
5	アラーム出力+
6	アラーム出力−

ご注意
各機能や設定について詳しくは、付属のCD-ROMに収録されているユーザーガイドをご覧ください。

⓯ **BNCケーブル(付属、接続ずみ)(SNC-ZP550/ZR550)**
本機からのSLOC(IP同軸伝送)信号および映像出力信号を出力します。

⓰ **リセットスイッチ**
先の細いもので、このスイッチを押しながら電源を供給すると、工場出荷時の設定に戻ります。

⓱ **ケーブルフタ**
カメラの側面からケーブルを出すときは、Ⓐの部分を折って配線します。

(裏面へ続く)

C

単位：mm

D

設置のしかた

1

2

E

F

単位：mm

単位：mm

設置

ご注意

- 持ち運ぶときは、カメラヘッド部を持たないでください。
- カメラヘッド部をパン方向、チルト方向に手で回さないでください。故障の原因となります。
- カメラを設置するときは、電源を入れないでください。

設置する際には、水平な場所に設置してください。やむを得ず傾きのある場所に設置する場合は、パン・チルト動作の性能を保証するため傾きが水平面に対して±15° 以内の場所に設置してください。

天井に設置する **D**

カメラの取り付けには、シーリングブラケットを使用してください。
シーリングブラケットは本体に取り付けてあります。取りはずして使用してください。

⚠警告

- 天井などの高所へ設置する際は、専門の工事業者に依頼してください。
- 高所への設置は、設置部および使用する取り付け部材（付属品を除く）が、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと落下して大けがの原因となります。
- 落下事故防止のため、内蔵ワイヤーロープを必ず取り付けてください。
- 高所へ設置した場合は、1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

設置する前に

- カメラ正面の撮影方向を決めてから、必要に応じて配線用の穴やネジ穴を開けてください。
- ケーブル類をカメラの側面から出すときは、ケーブルフタのミシン目を折ってください（詳しくは、「各部の名称と働き」⓮ケーブルフタをご覧ください）。

直接取り付ける

付属のテンプレートを使って配線用の穴（φ40 mm）を開け、シーリングブラケット取付用のネジ穴（3か所）の位置を決めます。（**C**）

既存のジャンクションボックスを使用する

シーリングブラケットをジャンクションボックスに取り付けます。ネジは付属していません。
シーリングブラケットの△マークが、カメラの正面にくるよう向きを調整して取り付けます。

取り付けネジについて

設置する場所や材質により、使用するネジ類（付属していません）が異なります。
鋼材の場合：M4ネジとナットで固定してください。
木材の場合：タッピンネジ（呼び径4）で固定してください。板厚は15mm以上必要です。
コンクリートの場合：ドライビット、またはプラグボルトで固定してください。
ジャンクションボックスの場合：ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジで固定してください。

⚠警告

設置する場所や材質により、適切な取り付けネジを使用してください。適切な取り付けネジを使用しないと落下して大けがの原因になります。

設置のしかた

1 カメラ本体の内蔵ワイヤーロープをシーリングブラケットのフックに引っかける。（D-1）

2 ケーブル類を接続する。

ご注意

カメラ本体がシーリングブラケットにぶら下がった状態で作業が可能ですが、大きな力を加えないでください。

3 カメラ本体の△マークと、シーリングブラケットの◇マークの横にあるラインを合わせて、カメラ本体を差し込む。（D-2）

4 カメラ本体を時計回りに回転させる。

5 カメラ本体の左右2か所を、ネジ（付属）でシーリングブラケットに固定する。

6 ケーブルフタを取り付ける。

⚠注意

取り付けネジは付属のネジをご使用ください。付属品以外のネジを使用した場合、本体内部を破損する恐れがあります。

カメラのはずしかた

1 カメラ本体の左右2か所にあるネジを取りはずす。

2 カメラ本体を反時計回りに回転させて、シーリングブラケットからカメラ本体を取りはずす。

3 ケーブル類を取りはずす。

ご注意

カメラ本体がシーリングブラケットにぶら下がった状態で作業が可能ですが、大きな力を加えないでください。

4 内蔵ワイヤーロープをシーリングブラケットからはずし、カメラ本体を取りはずす。

ご注意

シーリングブラケットからカメラ本体を取りはずすときは、必ずカメラを押さえてください。カメラが落ちる危険があります。

カメラヘッド部を上向きに設置する

取り付けおよび取りはずしは、「天井に設置する」と同じ手順で行ってください。
必ず固定してください。

ご注意

本機は、初期設定では天井に取り付けた状態で画像が正視できるように設定されています。
台の上などに置いて使用するときは、画像反転機能を使って画像を上下反転させることができます。

◆ 画像反転機能の設定については、付属のCD-ROMに収録されているユーザーガイドをご覧ください。

接続

ネットワークへの接続 **E**

市販のネットワークケーブル(ストレートケーブル)を使って、本機のLANポートとネットワークのルーターまたはハブを接続します。

コンピューターへ接続するには

市販のネットワークケーブル(クロスケーブル)を使って、本機のLANポートとコンピューターのネットワークコネクターを接続します。

同軸線を使用して接続(SNC-ZP550/ZR550) **E**

ネットワーク接続切り換えスイッチがSLOCに設定されているとき、同軸線を使用してネットワークに接続します。
同軸の最大延長距離は、3C-2V 300メートルです。

⚠注意

同軸線は同じ種別でも高周波特性が異なります。本機では、高周波特性の優れた同軸線を使用してください。

◆ 詳細は、接続するSLOC機器の取扱説明書を参照してください。または、ソニー業務用商品相談窓口にお問い合わせください。

電源への接続 **E**

本機は、次の2つの方法で電源を接続できます。

- AC 24 V
- HPoE

ご注意

LANポートへの給電で使用する場合は、HPoE給電機器を使用してください。

AC 24 V 電源への接続

AC 24 V の電源供給装置を本機の電源入力端子へ接続します。

- AC 24 V は、商用電源 に対して絶縁された電源を使用してください。
- 電源の使用電圧範囲は次のとおりです。
  AC 24 V：21.6 V ～ 26.4 V
- AC 24 V の配線には、UL ケーブル(VW-1 style 10368)を使用してください。

推奨電源ケーブル

AC 24 V の場合

ケーブル (AWG)	#24	#22	#20
最大ケーブル長 (m)	11	19	28

IEEE802.3at 準拠の電源供給装置への接続

IEEE802.3at 準拠の電源供給装置はLANケーブルを通して供給します。詳しくは電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

I/Oケーブルの接続

センサー入力への配線図

メカニカルスイッチ/オープンコレクター出力装置

アラーム出力への配線図

主な仕様

圧縮方式

映像圧縮方式　JPEG/MPEG4/H.264
音声圧縮方式　G.711/G.726 (40,32,24,16 kbps)
最大フレームレート
　30 fps

カメラ

撮像素子　SNC-EP580/ER580：1/2.8型Exmor CMOS
　SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550：1/4型Exmor CMOS
　SNC-EP520/ER520：1/4型インターライン転送方式CCD
同期方式　内部同期
最低被写体照度
　SNC-EP580/ER580：1.7 lx（シャッタースピード1/30秒、露出フルオート、50IRE [IP]）
　SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550：1.0 lx（シャッタースピード1/60秒、露出フルオート、50IRE [IP]）
　SNC-EP520/ER520：1.4 lx（シャッタースピード1/60秒、露出フルオート、50IRE [IP]）
映像S/N　50 dB(ゲイン0 dB)

レンズ

焦点距離　SNC-EP580/ER580：f=4.7 to 94.0 mm
　SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550：f=3.5 to 98.0 mm
　SNC-EP520/ER520：f=3.4 to 122.4 mm
最大口径比　SNC-EP580/ER580：F1.6 to F3.5
　SNC-EP550/ER550/ZP550/ZR550：F1.35 to F3.7
　SNC-EP520/ER520：F1.6 to F4.5
最至近撮影距離
　320 mm

メカ駆動

パン駆動　角度：SNC-EP580/EP550/EP520/ZP550：340°
　SNC-ER580/ER550/ER520/ZR550：360° 連続回転
　速度：300°/秒(最高)
チルト駆動　角度：SNC-EP580/EP550/EP520/ZP550：105°
　SNC-ER580/ER550/ER520/ZR550：210°（自動画面反転機能つき）
　速度：300°/秒(最高)

インターフェース

ネットワークポート
　10BASE-T/100BASE-TX、オートネゴシエーション（RJ-45）
I/Oポート　センサー入力：×2、MAKE接点
　アラーム出力：×1（最大AC/DC 24 V、1 A）
　（メカニカルリレー出力、本体とは電気的に絶縁）
SDメモリーカードスロット
マイク入力　ミニジャック（モノラル）
　プラグインパワー方式対応（基準電圧2.5 VDC）
　推奨負荷インピーダンス2.2 kΩ
ライン出力　ミニジャック（モノラル）、最大出力レベル：1 Vrms
SLOC端子／モニター出力端子(SNC-ZP550/ZR550)
　1.0 V p-p、75 Ω不平衡、同期負極性（映像出力時）

その他

電源電圧　AC 24 V ±10% 50 Hz/60 Hz
　IEEE802.3at 準拠（HPoE方式）
消費電力　最大 25 W
使用温度　－5℃～＋50℃（起動温度範囲0℃～ 50℃）
保存温度　－20℃～＋60℃
動作湿度　20% ～ 80%
保存湿度　20% ～ 95%
外形寸法（直径/高さ）**F**
　φ147.4 mm x 190.9 mm（シーリングブラケット装着時、突起部含まず）
質量　約1.7 kg（シーリングブラケット含む）
付属品　シーリングブラケット（1）
　ネジ（2）
　設置説明書（一式）
　CD-ROM（ユーザーガイド、付属プログラム）（1）
　テンプレート（1）
　AC 24 Vコネクター（1）
　I/Oコネクター（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

定期点検のお願い

本機を長期間ご使用になる場合は、安全にお使いいただくため、定期点検をお願いします。
外観上は異常がなくても、使用頻度によって部品が劣化している可能性があり、故障したり事故につながることがあります。

◆ 詳しくはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

補修用部品の保有期間

発売終了後、原則7年間保有しますが、場合によっては代替部品等で対応いたします。